

一 擬岩パネル景観工法 一

大木建設株式会社 担当:松本慎一 (昭和48年卒)

TEL 03-3255-4143 FAX 03-3251-7045

工法の特徴

概要

擬岩パネル景観工法は、現地に露出している基岩の節理や凹凸形・割れ目等の線模様を、また基岩の色調を再現し、あたかも基岩が連続して、自然の岩盤が存在するかの如くに修景を行うことができます。

特徴

- ガラス繊維や炭素繊維を混入させているので曲げ強度が大きい。
- 水セメント比が小さいので圧縮強度が高い。
- 風化耐久性・凍結融解抵抗性・耐磨耗性等にすぐれ、長期間にわたる美観保全性能をもつ。

製造・施工

1. 擬岩パネルは、施工場所に実在する基岩からゴム型を取り、工場内において薄型のパネルを製造します。
2. 製造したパネルは現地に搬入し、岩盤の表情をつくりながら固定します。
3. 擬岩パネルが固定された後、このパネルを型枠として通常のコンクリートを打設します。
4. 打設後はパネルとコンクリートが一体化し、自然の岩を表現するとともに、土木構造物の耐久性を向上させます。



写真上 立山砂防擁壁

写真下 利根川砂防ダム



事例: 柱状節理の再現



一 ハーモニーグラウト工法 一

環境にやさしい技術

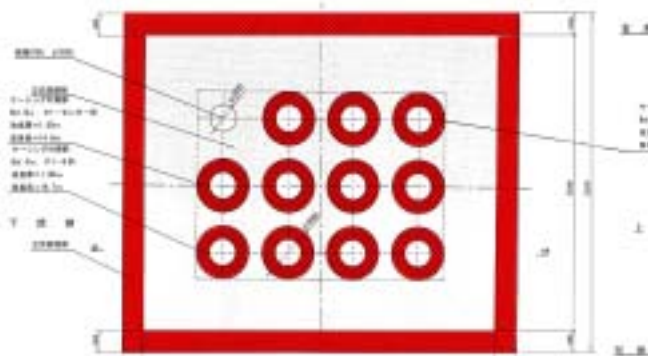
ハーモニーグラウト工法は、飲料水にも使用される炭酸水を水ガラスの硬化液としており、地下水環境とコンクリート構造物への影響を軽減でき、六価クロムの問題とも無縁です。もちろん、高い遮水性性能をほこり、在来工法の2倍の強度をもちます。硬化材の液化炭酸ガスは工場などの排出ガスをリサイクル・精製したものをを用いており、地球温暖化防止にも貢献できる工法です。

高い遮水性

地下水汚染防止

構造物腐食防止

地球温暖化防止



ダム関連工事現場での施工例
(左上: グラウト改良部 (赤色) 右上: 施工状況写真)